

(1) 平成29年度事業実績報告

平成29年度事業から平成30年度事業へ移行について

平成29年度	平成30年度
1. 事業名:介護予防活動普及展開事業) ・自立支援型地域ケア会議の推進	1. 介護予防・重度化防止推進事業 (新)・自立支援型地域ケア会議の開催に向けた研修会の開催《I①ア)イ)》 ・保険者へのアドバイザー派遣による自立支援型地域ケア会議の推進《I②》
2. 地域づくりによる介護予防推進事業 ・通いの場の立ち上げに係る技術的支援	2. 介護予防・重度化防止推進事業 ・通いの場の立ち上げに係る技術的支援 《I③ア)》
3. 介護予防自主グループ活動推進事業 (介護予防リーダー研修会)(委託)	3. 介護予防・重度化防止推進事業 (新)・地域サロンボランティアリーダーの養成研修として実施《Ⅲ》 ※原則として60歳以上で将来サロン等でボランティアリーダーとして活動する予定(見込み)の者 ※認知症予防体操(コグニサイズ)等を取り入れた養成講座
4. 市町事業評価事業(委託)	4. 地域包括ケアシステム構築加速化支援事業 ・地域包括ケア評価シート
5. 介護予防市町支援部会	5. 地域包括ケアシステム構築加速化支援事業 ・介護予防市町支援部会
6. 介護予防従事者研修会 (広域リハ支援センターに委託)	6. 介護予防・重度化防止推進事業 ・介護予防事業に関する研修会の開催(県実施)《I③イ)》
《新規》	7. 介護予防・重度化防止推進事業 (新)・介護事業所への交付金の交付《Ⅱ1,2》 ※要介護度改善に資する介護事業所の取組みを評価し、優秀な取組みに対し、交付金の交付及び表彰を行う。

① 自立支援型地域ケア会議の推進

◆ 先進地視察

- 目的：高齢者の自立支援と要介護者の重度化防止に向けた地域ケア会議の実践を学び、各市町の地域包括ケアシステム構築の一助とする。

先進地視察

視察先	大分県杵築市、国東市
日程	平成29年10月18日(木)～19日(金)(1泊2日)
内容	自立支援型地域ケア会議の実際を視察
参加者	市町、地域包括支援センター職員、県 (33名)

- ◆ 自立支援型地域ケア個別会議開催に係る研修会開催 平成30年2月28日(水) 参加者：87名
共催：長崎県地域包括・在宅介護支援センター協議会

①自立支援型地域ケア会議の推進（事業名：介護予防活動普及展開事業）

◆自立支援型地域ケア個別会議開催に係る市町支援事業

○目的：モデル市町が開催する自立支援型地域ケア会議の開催を支援することで、①高齢者の自立支援、QOL向上
②ケアプランの資質向上（給付適正化効果）③地域包括職員、ケアマネ及びサービス事業者等へのOJTによる専門性の向上（人材育成）④他制度・多職種チームによる支援の充実を図ることで、地域ケア会議の課題を市町の施策へ反映し、地域包括ケアシステムを早期に構築する。

○モデル地域（2地区）：波佐見町、長与町

モデル市町	日程	支援内容	
波佐見町 (4回)	11月20日(月) 13:30～15:30	アドバイザー派遣2名 (職種：介護支援専門員、保健師)	運営に対する助言支援
	12月25日(月) 13:30～15:30	アドバイザー派遣1名 (職種：介護支援専門員)	運営に対する助言支援
	1月23日(火) 13:30～15:30	アドバイザー派遣1名 (職種：介護支援専門員)	運営に対する助言支援
	3月16日(金) 13:30～15:30	アドバイザー派遣1名 (職種：介護支援専門員)	地域ケア会議公開
長与町 (2回)	2月20日(火) 13:30～15:30	アドバイザー派遣1名 (職種：介護支援専門員)	運営に対する助言支援
	3月20日(火) 13:30～15:30	アドバイザー派遣1名 (職種：介護支援専門員)	運営に対する助言支援

②通いの場の創出

(事業名:長崎県地域づくりによる介護予防推進支援事業)

○目的:高齢者に対して「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランスよくアプローチするために、体操などを行う住民運営の通いの場を充実させるため、市町を支援する。

○モデル地域(2地区):川棚町、小値賀町

モデル市町名	日にち	派遣者	支援内容	参加者
川棚町 (3回)	10月12日 (木)	・県アドバイザー派遣 2名:波佐見町保健師、 県保健師	1回目戦略会議	ボランティアグループ代表、 川棚町総合型スポーツクラブ代表、広域支援センターPT、県央保健所、県アドバイザー、町社会福祉協議会、町職員、県
	11月14日 (火)	・県アドバイザー派遣 1名:県保健師	2回目戦略会議	
	1月31日 (水)	・波佐見町通いの場代表 (実践者)1名 ・県アドバイザー派遣 1名:波佐見町保健師	住民向け研修会	地区総代、公民館長、民生児童委員、老人クラブ、母子愛育班、食生活改善推進員、介護予防サポーター、ボランティア等 (64名)
小値賀町 (2回)	10月26日 (木)	県担当者	1回目戦略会議	通いの場支援ボランティア、小値賀町社会福祉協議会、町職員、県
	3月28日 (水) (予定)	・小値賀町通いの場支援者代表 ・県アドバイザー派遣 1名:松浦市保健師	住民向け研修会	

②通いの場の創出 (事業名:長崎県介護予防自主グループ活動推進事業)(委託)

○目的:本事業業務委託により、市町や広域支援センターの取組を後押し、さらに広域的な立場で情報交換、必要な知識の提供、交流等を行うことで、地域の自主グループのリーダーの資質向上、活動意欲の向上により活動のさらなる醸成と継続を図ることを目的とする。

○開催地域(2地区):上五島地区、南島原地区

地区	日にち	会場	参加者数
上五島地区	H29年7月15日(土)	新上五島町石油備蓄記念	98名
南島原地区	H30年1月27日(土)	南島原市西有家町総合学習センター	66名

③介護予防事業評価事業

(事業名:介護予防市町事業評価事業)(委託)

- 目的:本事業業務委託により、平成28年度の介護予防事業の取組、平成28年度以降の新しい介護予防・日常生活支援総合事業(以下、総合事業)の取組の評価分析し、課題解決に向けての検討を行うことで、市町の介護予防事業の充実を図り、要介護者を減らし、元気な高齢者を増やすことにより、高齢者のQOL向上を目指し、地域包括ケアシステムの構築に寄与することを目的とする。
- 平成29年度市町介護予防・日常生活支援総合事業実施状況に関するアンケート調査:3月上旬

介護予防研修会

日時 平成30年3月26日(月)10:00~16:00(予定)

場所 長崎県勤労福祉会館 4階講座室

対象 市町担当者、保健所、長崎県下各地域包括支援センター、各圏域地域リハビリテーション広域支援センター

内容 講演1「長崎県における介護予防・日常生活支援総合事業の現状」
長崎県長寿社会課地域包括ケア推進班 係長 重野 智子 氏
報告:市町アンケート調査のまとめ結果報告
長崎県リハビリテーション支援センター 飯野 朋彦 氏
講演2「長崎県における介護予防・日常生活支援総合事業の課題及び方向性」
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 井口 茂 氏
情報交換会

④介護予防従事者研修会実施状況(長崎、佐世保、県北、県央)

委託:地域リハ広域支援センター

圏域名	実施日	参加者数	内容
長崎	H30.3.21(水)	46名 (申込者)	テーマ「総合事業における評価」 1. 運動機能における評価, 実践 2. 認知機能における評価, 実践 3. 栄養評価、実践 4. 基本チェックリストの理解 飯野 朋彦 先生(理学療法士) 磯 直樹 先生(作業療法士) 古川 美和 先生(管理栄養士) 山口 晃樹 先生(理学療法士)
佐世保	H29.8.27(日)	53名	摂食嚥下研修会
	H29.11.10(金)	15名	コグニサイズについて
	H30.1.21(日)	21名	介護技術・福祉用具等の研修会
県北	H29.5.27(日)	参加者93名 (うち、一般住民55名)	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ:「いつまでもみんなで健康に」～介護予防の必要性和安心・安全に運動するために～ ・目的: 自助においては、体調・健康の自己管理が重要となっている。保健・医療・福祉・行政機関の関係者及び一般住民に、通いの場におけるリスク管理及び日常生活においてどのように病気に対するリスクを回避する方法を学ぶ(満足度)満足:80%、概ね満足18% ・講師: 増山博之氏(柿添病院 理学療法士)、酒井砂値子氏(住民代表:職人町)、福井純氏(独立行政法人北松中央病院院長)
県央	H29.7.13(金)	47名	高次脳機能障害に関する研修会(こどもから大人まで)
	H29.11.22(木)	102名	在宅高齢者栄養・口腔ケア研修会(なるほど摂食嚥下リハ)

④介護予防従事者研修会実施状況(県南、五島、上五島、壱岐、対馬)

委託:地域リハ広域支援センター

圏域名	実施日	参加者数	内容
県南	H29.7.8(日)	43	在宅高齢者栄養・口腔ケア研修会
	H29.8.28(火)	30	平成29年度南島原地区第1回リハビリテーション実技研修会
	H30.2.8(金)	25	平成29年度南島原地区第2回リハビリテーション実技研修会
五島	H29.4.29(土)	48	第1回五島地域介護予防ボランティア養成講座
	H29.9.22(金)	13	第2回五島地域介護予防ボランティア養成講座
	H29.11.4(土)	21	認知症予防支援者養成講座
	H30.2.3(土)	25	施設入所者に対する機能訓練研修会
上五島	H30.3.11(日)	62人	小値賀地区認知症予防研修会
壱岐	H29.9.19(火)	96人	介護予防研修会「ロコモティブシンドロームの現状と対策」 講師 佐賀整枝学園こども発達センター 高杉紳一朗先生 対象 自主グループ代表や介護予防関係者
対馬	H29.10.27(土)	24	平成29年度対馬市介護予防従事者研修会

市町に対する介護予防アンケートの集計結果・分析

地域包括ケア評価シートによる介護予防分野の評価 結果・分析の報告

今後の取組方(地域包括ケア評価シートへの移行)について

(3) 平成30年度介護予防関連予算について

(I)市町への介護予防事業への支援 (予算額 2,605千円)

①自立支援型地域ケア会議の開催に向けた研修会の開催

ア)保険者(市町)向け研修

・入門編:2回/年(7月・10月) ・応用編1回/年(1月) 外部講師活用

イ)会議参加者(栄養士、リハ職等の専門職)向け研修

・3回/年(8月・11月・1月) ※1月開催分については、保険者向け研修会と合同(模擬ケア会議)
開催も検討

⇒ 自立支援型地域ケア会議普及のための先進事例の紹介・研究、模擬ケア会議の実施による実践な研修等

②保険者へのアドバイザー派遣による自立支援型地域ケア会議の推進

H28:1箇所、H29:2箇所、H30:6箇所(1箇所2回程度)

③保険者へのアドバイザー派遣による介護予防に関する技術的支援及び実地支援

ア)市町の通いの場の立ち上げに係る技術的支援 H30:2市町(1箇所3回程度)

イ)保険者及び地域包括支援センター等の介護予防事業に関する研修会の開催(2回)

(Ⅱ)要介護度改善に資する取組みへの支援 (予算額 5,188千円)

- ・要介護度改善に資する介護事業所の取組みを評価し、優秀な取組みに対し、交付金の交付及び表彰を行う。

○対象サービス:認知症グループホーム、通所介護(デイ)、デイケア、認知症デイ

○事業内容

1. 介護事業所へ交付金の交付(予算額 5,000千円)④

交付事業所数 10事業所(上限) (500千円×10箇所)

交付額 10万円/人(a)×要介護度の改善者数(b)

※予算額を超過する場合は、10万円を予算の範囲内に収まるよう千円単位で調整した額に、改善者数を乗じた額とする。

2. 1に該当した事業所の職員・チームの表彰

- ・優秀な取り組みを行った事業所の職員、チームへの表彰
- ・発表会や事例集を通して、表彰を受けた職員・チームによる取組みを他の事業所の職員に紹介

○審査会の開催(予算額 188千円)①③

①審査会(審査会委員):審査項目、審査方法の決定

②一次審査(事務局):(サービス提供体制、処遇改善、人材育成、コンプライアンスの取組み等)

③二次審査(審査会委員):(認知症予防体操(コグニサイズ)等を取入れ、高齢者の要介護度改善率が高い事業所を審査)

(Ⅲ) サロンリーダー養成研修、派遣事業 (予算額 4,000千円)

○ 地域サロンボランティアリーダーの養成研修

ア) 地域サロンリーダー養成講座の開催 * 500千円

1.5ヶ月コース全5回、4時間/回、年間3回実施、10名/回養成(計30名養成)

【対象】原則として60歳以上で将来サロン等でボランティアリーダーとして活動する予定(見込み)の者

【内容】認知症予防体操(コグニサイズ)等を取り入れた養成講座

イ) 地域サロン講座を修了したサロンボランティアリーダーを派遣し開催支援

(養成者30名が年間に平均して5箇所へ派遣)